



実りの秋、あなたの人生が結ぶ「実」

牧師 立石尚志

● 実りの秋

ニューイングランドの秋といったら・・・子どもたちが遠足でリンゴ狩りに出かけ、家々の庭先に色とりどりのマムズ（菊）やパンプキンが飾られ、青空をバックの燃える紅葉・・・私の頭にはこんなイメージが浮かんで来ます。秋は春からの全ての営みの終着点であり、実りの季節、刈り取りの時です。ちょうど、植物に実りの時があるように、聖書は「人生の実り」について語っています。その実りというのは、収入、株式の配当、持ち家、安定した老後、ということではなく、人の内側に実るもの、品性とか品格に関わるもの、生涯を終えた時に永遠に続くことになる人の人格のことです。

**人生の実りのリスト** 以下のリストに目を通していただけでしょうか。農夫が果樹に立派な実りを求めるのと同じように、これらは神が私たちに求めておられる「人生の実り」のリストです。

<p><b>I コリント 13 章</b> <b>愛の定義</b> 寛容 親切 ねたまない 自慢しない 高慢にならない 礼儀に反さない 自分の利益を求めない 怒らない 人のした悪を思わない</p>	<p>不正を喜ばず 真理を喜ぶ 全てを我慢する 全てを信じる 全てを期待する 全てを耐え忍ぶ</p> <p><b>I コリント 13 章</b> <b>いつまでも残るもの</b> 信仰 希望 愛</p>	<p><b>ガラテヤ 5 章</b> <b>御霊の実のリスト</b> 愛 喜び 平安 寛容 親切 善意 実和 自制</p>	<p><b>コロサイ 3 章</b> <b>神に選ばれた者として身に付けるべきもの</b> 深い同情心 慈愛 謙遜 柔和 寛容 互いを忍び合う 互いを赦し合う 愛を着ける キリストの平和</p>	<p>感謝の心を持つ <b>II ペテロ 1:5-9</b> <b>信仰に加えるべき物</b> 信仰 徳 知識 自制 耐度 兄弟愛 愛</p>	<p><b>ヤコブ 1</b> 1) 様々な試練を喜ぶ 2) 信仰が試されると忍耐が生じる 3) その忍耐を完全に働かせる 4) すると成長を遂げた完全な者となる</p>
--	---	---	---	---	---

これらが実っている「自分」を想像できるでしょうか。これらのものが私たちの内側にあるなら困難な状況に置かれても、満ち足りることができます。中傷誹謗、不当な仕打ち、悪い誘いなどあったとしても、自分の内側に常に自分を正しい方向へと導く力が働きます。否定的な状況を積極的なものに造り変えていく力も湧き出て来るので、状況に左右されない生き方ができることでしょう。さて、聖書の中にはもう一つの「人生の実り」のリストがあります。これらに目を通してみてください。

<p><b>マルコ 7 章 人の内側から出て人を汚すもの</b> 悪い考え 不品行 盗み 殺人 姦淫 貪欲 よこしま 欺き 好色</p>	<p>ねたま そしり 高ぶり 愚かさ</p> <p><b>I コリント 6 章</b> <b>天国を相続できない者</b> 不品行な者 偶像礼拝する者 姦淫する者 男娼となる者 男色する者</p>	<p>盗む者 貪欲な者 酒に酔う者 そしる者 略奪する者</p> <p><b>ガラテヤ 5 章</b> <b>罪深い行い</b> 不品行 汚れ 好色 偶像礼拝</p>	<p>魔術 敵意 争い そねみ 憤り 党派心 分裂 分派 ねたま 酪酊 遊興</p>	<p><b>2 テモテ 3 章 世の終わりに生きる人々の特徴</b> 自分を愛する者 金を愛する者 大言壮語する者 不遜な者 神を汚す者 両親に従わない者 感謝しない者 汚れた者 情け知らずの者</p>	<p>和解しない者 そしる者 節制しない者 粗暴な者 善を好まない者 裏切る者 向こう見ずな者 慢心する者 神より快楽を愛する者 外側だけ敬虔な者</p>
--	--	---	--	---	---

これらは、罪深い自己中心的な性質が放って置かれ、増長していった「結果」・・・結ぶ実です。2千年前のこのリストは私たちが毎日テレビやラジオで見たり聞いたりし、平和を破壊し、人生を苦しくするもの、そのものではないでしょうか。生活水準の向上も、技術革新、科学進歩、あらゆる医療技術もこれら、人間の心の問題を未だ解決することが出来ないでいるのです。

● 「実」を養えるには土台となっている「木」を変える必要がある

グリニッチ便りを読んで下さっている皆さまはもちろん良い実を求めていらっしゃると思います。問題はこうしたらこのような人生の実が生るのかです。答えは土台となる「木」を変えることなのです。人間の祖先が神に逆らい、罪に落ちて以来、人間は生まれながら「自己中心」という木の枝として成長しているのです。良いことをするにしても、結局、どこか、人から良く思われたいから、等々、自己中心的思いが混ざってしまいます。土台に問題があるのです。

一方、全ての良きものの創造者であり、正義と善、喜びと愛に満ちた神（キリスト）という木を土台とするなら、神からの良い栄養を受けて良い実を生らすようになるのです。植物は「接ぎ木」をすることができる、という驚くべき能力がありますが、罪を悔い改めて、自分中心の台木を捨て、キリストを中心に生きることを決心するなら、私たちはキリストという台木に接ぎ木された枝となるのです（ローマ人への手紙 11 章 / 2千年前も接ぎ木は農家の一般常識だったようです!）。キリストは次のように言いました。

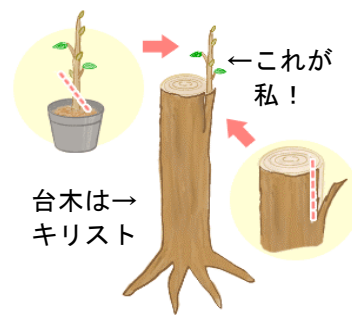
「わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます」 イエス・キリスト / ヨハネ福音書 15:5

● 実りには時間がかかる

桃栗三年、柿八年。木が実を生らすのには、それなりに時間が掛かります。ですから神を信じたからと言って、すぐに実が生るわけではありませんが、聖書を読み、日々神に助けを祈りつつ、神が置いてくださった家族・友人に誠実に仕えて行くなら、着実に生き方に変化が生じ、あなたという枝は神が求めておられる実をつけはじめるのです。一つ、特に強調しておきたいことがあります。それは、自分が神に赦され、愛されていることが分かって来ると「自分へのこだわり」や「人に認めてもらう必要」から自由にされ始める、ということです。これが恐らく最も大切なことかも知れません。なぜなら人は「自分」へのこだわりから自由になった分だけ、他の人を本当に愛することができるようになっていくからです。（裏面にファイナルコメント）

● **あなたが豊かな実りで満たされた人になるように・・・**

私が知っているあるおばあさんは亡くなられる前、痴呆がかなり進んでしまったため、自分の息子さえも認識できなくなっていました。この方は檀家総代の農家の嫁でしたが、様々な苦難の中、キリストに出会い、たった一人で信仰を守り通しました。習俗の強い田舎で、老いて教会にも行けなくなり、信仰は仏教や御先祖さまと多少混じってしまったりもしました。しかし、園芸が大好きで、本当に愛情深く、孫たちのためにはいつも歌を詠み、祈りをささげていたこの「花のおばあちゃん」は、痴呆が進んでからも、讃美歌を歌い、感謝、感謝と言って日々を過ごし、親族一同、この方の内に実っている「実」を見ることになったのです。



日本人の多くが長生きする時代です。誰もが認知症になるわけではありませんし、その現われ方も一概には言えないでしょう。しかし、仮に自分がボケてしまったとしましょう。そして仮にその時出てくるものが、それまでの人生で実らせてきた実、つまり品格だったとするなら、あなたなら、どちらのリストの実であることを願うでしょうか。

神に立ち返り、神であるキリストにつながることを、答えはここにあります。今日、一歩でも神に近づこうではありませんか。 ■

『神様のもとに帰ることができて』

ハートフォード聖研OB

K. M. さん

私は、2010年に1年間程アメリカで生活する機会が与えられ、今は東京のM教会に毎週集っています。私は、2000年12月に受洗しましたが、進学や就職と環境が変わった事を理由に、5-6年程前からは全く教会に通わなくなりました。

そのような中、1年間程アメリカのコネチカット州へ行くこととなりました。最初は現地の生活に慣れるのが精一杯で、気にはなっていたものの、教会へ行く機会がありませんでした。アメリカでの生活も残り3か月となった頃、日本人のクリスチャンの方と出会う機会が与えられました。その時の嬉しかったことを今でも覚えています。その日を境に、ただ毎日を過ごすだけの私の生活は一変し、とても充実したものとなりました。週に2回、ハートフォードでの家庭集会和母と子のプログラムに参加させてもらうようになりました。久しぶりに開いた聖書から、たくさんの御言葉を聞き、子供たちに癒されながら過ごすことができました。日常生活の中で辛いことがいろいろあったのですが、皆さんで折り合う機会があり、また、私のことを覚えて祈って下さることが本当に感謝でした。たった3ヶ月間の交わりでしたが、私にとってこの時間は宝物でした。そして、神様のもとに

帰る機会になったことを心から感謝しています。

いよいよ、帰国することになり、自分に合った教会に出会えるのか、再び教会から離れてしまうのではないかと不安がありました。しかし、自宅に近い教会を立石先生に教えていただき、現在の教会に集っています。この教会は、アメリカでの生活を経験した人が多く、また英語部もあり、どこか懐かしい感じがします。そして、帰国し、教会に集うようになって、1年がたちました。今年の1月からは、未就学児向けのプログラムにもスタッフとして参加するようになりました。未就学児のプログラムの中には、メッセージも組み込まれており、信仰についてまだまだ知らないことの多い私にとってはとても貴重な時間となっています。また、4月からは月2回、姉妹達と聖書の学びもしています。立石先生から、「定期的に聖書の学びのできる教会に行くといいよ。」と言われたのを思い出し、神様は、私のふさわしい場所に導いてくださっているのだと感じています。

私は、受洗し10年以上月日が経ってしまいました。しかし、神様から離れていた時間の方が多く、まだまだ学ぶことがたくさんあります。再び、神様のもとに帰ってくることを

ができ、まだ1年半くらいです。自分の生活に何か劇的な変化があったり、人前で折れたり、聖書の御言葉から感じることをスラスラと答えられるわけでもありません。でも、日々の生活の中でイエス様がそばにいて、折れること、感謝できること。日々経験する様々な出来事も、後に考えると「これもイエス様が良しとして…」最善の道を導いてくださったのだと思えるようになったこと。自分で決めた道、一人で歩んでいると思いついてきたことも、イエス様が一緒に歩み導いてくださっていると思えること。そのような思いが生まれたことや発見は、私にとって、大きな変化です。私は、そのような中で、嬉しく日々過ごしています。

「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない」(ヘブル書13:5)

この聖書の箇所は、私にとって、とても安心をいただくことの出来る箇所です。一度は、神様から離れてしまった私ですが、これからは私もイエス様からは離れず、信じて歩んでいきたいと願っています。 ■



■ 2012年秋冬の集会・行事予定 ■

※詳しくは [church@jgclmi.com](mailto:church@jgclmi.com) までお問い合わせください。

【定例集会】

★ 日曜礼拝 / 10:00~11:30  
メッセージは託児室でモニターを通して聞く事ができます。

礼拝後 グループ会 / 12:15 まで  
大人、子供それぞれのクラスに分かれます

★ 祈り会 / 水曜日 10:00~12:00

【各種集会】

★ スタッフオード 聖書を読む会  
隔週水曜 1:15pm

★ ハートフォード 聖書を読む会  
隔週月曜午前  
毎週木曜午前 場所はお問合せください

★ ハリソン 聖書を読む会

隔週火曜 10:00am 場所:ハリソン長老教会

★ マウントキスコ 聖書を読む会  
毎週水曜 8:00pm 場所:平野宅

● 10/06(土)~12/01(土) 9:30am~11:30am 秋のキリスト教教養講座 (全7回)

● 11/03(土) 9:30am~3:00pm 教会チャリティーバザー 寄付品を受け付けます!

● 11/18(日) クリスマスシューボックス収集日 グリニッチ教会が収集場所になります

● 12/01(土) 1:30pm~子どもクリスマス会 幼稚園から小学生対象、お楽しみ会です!

● 12/16(日) 5:00pm~7:00pm クリスマス・音楽とメッセージの夕べ

《教会住所》グリニッチ福音キリスト教会 (Japanese Gospel Church of Greenwich)、 牧師 立石尚志

c/o St. Paul Ev. Lutheran Church, 286 Delavan Ave. Greenwich, CT 06830 website: [www.jgclmi.com](http://www.jgclmi.com)

《問い合わせ》 教会 TEL/FAX (203) 531-6450、牧師宅 TEL/FAX (203) 531-1609, e-mail: [church@jgclmi.com](mailto:church@jgclmi.com)

